

# 基本技能 スケッチをしよう「観察しよう」

観察とは「物事の様相をありのままにくわしく見極め、そこにある種々の事情を知ること。(三省堂 大辞林)」

## 観察することについての考察

○絵を描く前に、実際に手のデッサン(=観察)を擬似的に体験してみましょう。

まず自分の手を見てください。何を思うでしょうか？

……まあ、「手だな」って感じですね。

この状態では手を「見てる」だけで「観察」してるとは言えない状態です。

それでは色々な角度から観察していきましょう。

まずはざっくりと形を視て行きます。

- ・指は何本ありますか？
- ・手の大きさや厚みは何 cm くらいでしょうか？
- ・手はどのように曲がりますか？

次に手に含まれる名詞を沢山あげてみましょう。

- ・人、肌色、手のひら、手の甲、親指、人差し指、中指、薬指、小指、シワ、指紋、関節、爪、ほくろ、汗、毛、毛穴、骨、血管、細胞、etc...

もっと近くに寄って見てみましょう。

- ・ほくろは何個ありますか？
- ・爪と皮膚の質感の違いはどうでしょうか？
- ・指紋はどんな模様をしていますか？

見えないところの想像してみましょう。

- ・骨や筋肉、脂肪はどうなっているのでしょうか？
- ・血管はどうなっていますか？
- ・どんな細胞によって創られているのでしょうか？

感情移入をしましょう。

- ・あなたの性別や年齢、部活はなんですか？
- ・もう片方の手で触ると暖かいですか？冷たいですか？
- ・手のポーズで感情を表現できますか？

いかがでしたか。毎日必ず見ているはずの自分の手について、ここまで色々視たり考えたりした経験はあったでしょうか。

### まとめ

観察することとは発見すること。

見て感じた部分を描くことで理解すること。

## 課題 「自分の手を観察して描いてください」

紙は何でも構いません。

自宅にあるものでいいです。

大きさはA4ぐらいがいいでしょう。

授業が再開したら提出してください。

ノート点にします。

## 絵をよくするには、どうするか

「いい絵を描きたい」と思う気持ちは美術を選択している人なら当たり前のことでしょう。スケッチでは、「よく見ましょう」「観察しましょう」とよく言われます。そう言われてじっくり目を凝らしてみる。…見落とさずに書く。ちょっとしたことを発見する。素晴らしいですね。人の目と気持ちは、注目した部分を大きく感じる力を持っています。しかし、目を凝らした結果、形が変化して感じます。例えば、指先をよく見ると「指紋」が見えます。だから、指先に指紋を「ぐるぐる」描くとどうなるでしょうか。面白い絵にはなりますが、なんか先に進まないような気がします。

「良い絵をかく」は「良い見方をする」に言い換えることができると思います。モチーフを見比べたり薄眼で見たり、違う方向から見たり、中身はどうなっているのかなと想像したりして、感じ取った情報を絵にしてみましょう。失敗もあると思います。覚えている形であまり見ずに表現できる人もいるでしょう。感じ取って描く。できた作品を見てモチーフと見比べてまた直す。」こうした中でだんだん絵の中に描かれている情報がバランスよくなってくると思います。絵をよくするのは、手と目と脳の共同作業だと思います。

Yuyama.h

スケッチ評価 モチーフ(描く対象のこと)をよく観察して、その形や質感を発見している。  
発見した形を鉛筆の線やタッチ、濃淡で表現している。(作品は返却後、隣ページに貼る。)